

IS-LM曲線

	傾き	基本（供給＝需要）
IS曲線	貯蓄 利子（投資の利子率感応度）	$Y_S = Y_D$ $r \downarrow \rightarrow I \uparrow \rightarrow Y \uparrow$
LM曲線	所得 利子（貨幣需要の利子率感応度）	$M/P = L$ \uparrow 実質は日銀が一定

参考：熊本学園大学

<http://www2.kumagaku.ac.jp/teacher/~sasayama/macroecon/lecture13.html>

① 投資の利子率弾力性	② 流動性のわな	③ 貨幣需要の利子率弾力性	④ 貨幣需要の所得弾力性
小さい	貨幣需要の利子率弾力性が無限大 ∞	小さい	小さい
r が動いても、 $Y(=I)$ が変わらない =垂直	もう最低限の r のため、 その r で L_2 が ∞ （＝水平）になる	r が動いても、 L が増えない ＝ Y 固定のため、 LM垂直	所得が減っても、 r は一定 ＝水平
			